

関係団体の長様

北海道農政部農村振興局事業調整課長

週休2日を実施した工事における間接工事費の補正に関する試行について（通知）

農政部が発注する建設工事の工期については、工期の設定に関する発注者の責務等を定めた品確法等の主旨を踏まえ、土曜日、日曜日及び祝休日等を工事期間中の休業日として確保するなど適切な設定に努めているところですが、建設業界においては、担い手不足が懸念され、将来を担う技術者確保が重要な課題となり、入職しやすい環境作りに向けた建設現場における「働き方改革」が求められているところです。

このことから、これらの趣旨と課題を踏まえ休日を確保できる環境整備を推進するため、週休2日を実施した工事における間接工事費の補正に関する試行（以下「試行工事」という。）を次のとおり積算基準日が平成30年1月1日以降の工事から、次のとおり実施することとしたので参考にお知らせします。

記

1 対象工事

土地改良事業等請負工事積算基準の工種区分を適用する工事のうち、対応可能な工事。ただし、災害復旧工事及び工期末に制限のある工事など、週休2日による施工の実施に適さない工事は除くものとする。

2 間接工事費の補正方法

週休2日を実施した工事における、設計変更時の間接工事費の算定※1について、それぞれ以下の補正係数を乗じるものとする。

【共通仮設費】 1.02

共通仮設費（率分）＝

対象金額×共通仮設費率×施工地域を考慮した補正係数×週休2日補正係数（1.02）

【現場管理費】 1.04

現場管理費＝

対象金額×現場管理費率×施工地域を考慮した補正係数など※2×週休2日補正係数（1.04）

※1：設計変更時に算定した共通仮設費及び現場管理費は、一般管理費の対象金額に含めるものとする。

※2：施工時期、工事期間等を考慮した補正の積算を含む。

3 「週休2日」の定義

「週休2日」とは、工事期間を通じた現場閉所※3（以下「休工日」という。）の日数※4が、工事期間内に存在する土日の日数以上となることをいう。

※3：現場閉所とは、現場作業を行わない日とする。ただし、現場安全点検（巡視）作業は含まない。

※4：現場閉所の日数は、実際に現場閉所した日数から、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として6日を、8月を挟む工事では夏期休暇分として3日を差し引くものとする。

4 実施方法

（1）発注者は、土曜日、日曜日及び祝休日を休工日とすることを前提とした工期設定を行うものとする。

- (2) 受注者は、週休2日の実施を希望する場合、工事着手前に週休2日の実施計画書※5を作成し工事監督員へ提出すること。
- (3) 試行工事の対象となる工事期間は、工事の始期から工事の完了日まで（工事の中止期間※6は除く。）とし、その期間内に週休2日の履行（または実施予定）を確認すること。

※5：実施計画書は、別記様式1（休日等取得実績調書）計画欄によるものとする。

※6：標準契約書第19条1及び2における工事の全部の施工を一時中止する場合をいう。

5 実施の留意事項

- (1) 受注者は、休工日を計画的に設けることとする。ただし、現場の特性等に応じて、当初計画した休工日を振り替えできるものとするほか、天候等により休工し、作業日を振り替えた場合においても休工日として認めるものとする。
- (2) 週休2日の履行確認については、事務手続きの関係上、工事の完了日の20日前※7までに実施状況※8（または実施予定状況）を工事監督員に提出し、確認を受けなければならない。
- (3) 発注者は、緊急時等を除き、受注者に対して休工日の作業が発生するような指示及び依頼は行わないこと。
- (4) 週休2日の実施を希望したが、実際に週休2日を履行することができない場合でも、その責は問わないものとする。

※7：工事完了日の20日前が閉庁日の場合は、その前の開庁日とする。

※8：実施状況（または実施予定状況）は、別記様式1（※5）実施欄によるものとする。

6 実施確認

- (1) 受注者は、週休2日の実施状況を定期的に工事監督員へ報告※9すること。
- (2) 工事監督員は、受注者からの上記報告により週休2日の実施状況を確認※10するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り及び提示資料等による確認を行うこと。

※9：報告は、旬日毎に提出する工事旬報による。その提出は電子データまたは書面とする。ただし、工事旬報を電子データにより提出する場合には、別記様式1（※5）によることもできる。

※10：報告を受けた工事旬報または別記様式1（※5）による。

なお、必要に応じて行う受注者からの聞き取り及び提示資料等による確認とは、工事旬報以外に日報、作業日誌及び安全日誌等による作業実態の確認のことをいう。

7 試行工事実施フローについて

試行工事を行う場合におけるフローは別紙2による。

8 入札公告及び入札説明書並びに特記仕様書への記載について

- (1) 入札公告及び入札説明書に別紙1の記載例を参考とし、試行工事の対象であることを明示するものとする。
- (2) 特記仕様書に別紙1の記載例を参考とし、試行工事の対象であることを明示するものとする。

（事業管理グループ 27-169、設計施工グループ 27-188）

別紙 1

【入札公告記載例】

1 入札に付する事項

- (6) 週休 2 日を実施した場合に間接工事費を補正し設計変更を行う試行対象工事

本工事は、「週休 2 日を実施した場合に間接工事費を補正し設計変更を行う試行対象工事」である。

【入札説明書記載例】

2 入札に付する事項

- (6) 週休 2 日を実施した場合に間接工事費を補正し設計変更を行う試行対象工事

本工事は、「週休 2 日を実施した場合に間接工事費を補正し設計変更を行う試行対象工事」である。

《総合評価方式による落札者を決定する場合》

「総合評価の方法」に以下を記載する。

総合評価落札方式において、週休 2 日の実施に関する技術提案・簡易な施工計画における技術的所見は、加算評価の対象としないものとする。

【特記仕様書記載例】

週休 2 日を実施した場合に間接工事費を補正し設計変更を行う試行対象工事

1 週休 2 日による施工

- (1) 本工事は、「週休 2 日を実施した場合に間接工事費を補正し設計変更を行う試行対象工事」である。

- (2) 「週休 2 日」とは、工事期間中を通じた現場閉所の日数が、工事期間内に存在する土日の日数以上となることをいう。

なお、ここでいう工事期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

ア 現場閉所とは、現場作業を行わない日とする。ただし、現場安全点検（巡視）作業は含まない。

イ 現場閉所の日数は、実際に現場閉所した日数から、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として 6 日を、8 月を挟む工事では夏期休暇分として 3 日を差し引くものとする。

ウ 受注者は、現場閉所日（以下「休工日」という。）を計画的に設けることとする。ただし、現場の特性等に応じて、当初計画した休工日を振り替えできるものとするほか、天候等により休工し、作業日を振り替えた場合においても休工日として認めるものとする。

- (3) 週休 2 日の実施確認方法は、次によるものとする。

ア 受注者は、週休 2 日の実施を希望する場合、工事着手前に週休 2 日の実施計画書を作成し工事監督員へ提出すること。

イ 受注者は、週休 2 日の実施状況を定期的に工事監督員へ報告（工事旬報等による）すること。

ウ 受注者は、週休 2 日の実施状況について、工事監督員が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合は、協力するものとする。

- (4) 週休 2 日を実施したことが認められる場合は、間接工事費を補正し設計変更を行うものとする。

別紙 2

週休 2 日を実施した工事における間接工事費の補正に関する試行実施フロー

試行工事 発注時
・週休 2 日試行工事を選定後、入札公告文及び入札説明書並びに特記仕様書に当該工事が試行工事である旨を記載する。
(別紙 1 参照)



試行工事 契約締結後の施工計画書提出時（受注者が週休 2 日による施工を希望する場合）
・受注者は週休 2 日の実施計画書（別記様式 1）を施工計画書に添付して、施工協議簿とともに工事監督員へ提出する。
・工事監督員は計画工程表の休日取得計画の妥当性を確認する。
(別紙 3 および別記様式 1 参照)

※受注者が週休 2 日による施工を希望しない場合は通常工事となる。



試行工事 実施（施工）中
・工事監督員は、休日が適切に取得されているか、必要に応じて受注者への聞き取りや、受注者からの工事旬報等の提示により確認を行う。
・受注者は、週休 2 日を確保しつつ、受注者の責めに帰すことができない事由により工期を延長する必要が生じた場合、工事監督員へ工期延長についての協議を行うものとする。
・工事監督員は、「工期内における週休 2 日の履行（以下「履行」）」が確認できた時点で、設計変更により間接工事費の補正を行う。ただし、工事期間中に、「履行」が確認できなければならない。
⇒工事完了日の 20 日前までに、「履行」が確認できる場合は、その確認日以降であれば、設計変更を行って差し支えない。
⇒「履行」することができないこととなった場合にあっては、特に手続きを要しないが、必要に応じ工事監督員と協議するものとする。
⇒受注者は、工事完了日の 20 日前までに、「履行」が確認できず、その後の現場閉所により「履行」確認ができる場合は、「別記様式 1」等の実施予定状況が確認できる書類を提出し、工事監督員による休日取得計画の妥当性の確認を受けるものとし、「履行」が確認できる場合は、設計変更を行うものとする。
(ただし、受注者は「履行」確認のための提示資料をとりまとめ、工事監督員による作業実態の確認に応じること。)

工 事 施 工 協 議 簿

指示 協議	承諾 報告	役職等	課長 出張所長	専門員 次長	係長 主査	総括 監督員	主任 監督員	監督員		主任 技術者	現場 代理人
		署名等	必要に 応じて	必要に 応じて							
指示 (改善) 改造請求及び破壊検査等 指示		役職等	課長 出張所長	専門員 次長	係長 主査	総括 監督員	主任 監督員	監督員	会社の 責任者	主任 技術者	現場 代理人
		署名等									

工 事 名	〇〇〇 〇〇地区 〇工区		協議簿通し番号	●
業 者 名	〇〇建設			
当該協議月日	平成 年 月 日	前回協議月日	平成 年 月 日	

記載者		内 容
協 議 事 項	現 場 代 理 人 ● ●	週休2日の実施について
		例)
		本工区において、週休2日による施工を希望します。
		週休2日の計画工程表を提出します。
合 意 事 項	監 督 員 ○ ○	例)
		(確認をして) 実施計画書の内容が適正と認められるため、了解します。
		週休2日による施工を実施してください。
		以後、実施状況について工事旬報等の提出書類にて確認を行います。
		○ 最終的な実施確認について、別記様式1の提出をしてください。
		○

別記様式1 休日等取得実績調査書

工事名 経営体 ○○地区 1工区

工期 平成30年4月26日 ~ 平成31年1月30日

279 日間

平成30年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
計画																																	
実施																																	
現認(監督)																																	
3月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
4月																																	
5月	火	水	祝	祝	祝	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
6月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
7月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
8月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
9月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
10月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
11月	木	金	祝	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
12月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
平成31年	祝	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
1月																																	
2月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
3月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
計画																																	
実施																																	
現認(監督)																																	

計画時チェック (発注者)計画休日 70日 < (受注者)計画休日 80日 ... OK

実施時チェック (発注者)計画休日 70日 > (受注者)実施休日 65日 ... NG

(受注者側) 旬報入力方法

- ・黄色着色セルに入力してください。それ以外はリンクか計算式が入っています。(パスなし保護しています)
- ・集計表へリンクされていますので、シートや行列の挿入・削除は行わないでください。(不要なシートは「非表示」にしてください)
- ・実施内容の記号は☆(作業日)に対する★(天候等休工期)など、計画と実施が同じ記号(同色又は色違い)が入ります。

	予定	実施
作業日	☆	☆又は★
休工期	■	■又は□
休工期内動等	▼	▼又は▽

- ・実施内容を複数行入力する場合は、セル内で「Alt+Enter」により改行してください。また、文字サイズは適宜変更してください。
- ・当初の休日等取得計画を確認するため、施工計画書(実施工程表)作成時に、予定欄の☆・■・▼の記号のみ入力し監督員に提出してください(竣工～完了まで全て)。

(発注者側) 確認方法

- ・施工計画書(実施工程表)受理時に、本データもあわせて確認する。
- ・当初時点の休日等取得計画を「実績調書」シートで確認する。
- ・段階確認時等で、現場の稼働状況を確認し「実績調書」シートの現認(監督)にチェックする。
- ・「実績調書」シートの実施チェックの「OK」で、連休2日取得が達成されたことを確認する。

様式-1

入力例

工 事 旬 報 (計 画)

工 事 名 経営体 ○○地区 1工区

受注会社名 道庁建設 株式会社

現場代理人名 北海 太郎

月 日	曜 日	予 定		実 施		
		計画 施工 内容	▼	計画ど おり実施済	変更 実施 内容	天候
3月1日	木	契約日(着工)	▼			
3月2日	金	施工計画書作成	▼			
3月3日	土	休日	■			
3月4日	日	休日	■			
3月5日	月	準備工(測量・伐開)	☆			
3月6日	火	準備工(測量・伐開)	☆			
3月7日	水	土工(掘削・盛土) SP0.0~100.0	☆			
3月8日	木	土工(掘削・盛土) SP100.0~200.0	☆			
3月9日	金	路盤工 SP0.0~200.0	☆			
3月10日	土	休日	■			

☆: 作業日 ★: 天候等休工期 ■: 休工期 □: 休工期作業 ▼: 休工期内動等 ▽: 休工期作業

監督員指示・確認事項

様式-1

入力例

工 事 旬 報 (実 施)

工 事 名 経営体 ○○地区 1工区

受注会社名 道庁建設 株式会社

現場代理人名 北海 太郎

月 日	曜 日	予 定		実 施		
		計画 施工 内容	▼	計画ど おり実施済	変更 実施 内容	天候
3月1日	木	契約日(着工)	▼	○	▼	晴/曇
3月2日	金	施工計画書作成	▼	○	▼	晴
3月3日	土	休日	■		■	
3月4日	日	休日	■		■	
3月5日	月	準備工(測量・伐開)	☆	○	☆	晴
3月6日	火	準備工(測量・伐開)	☆	○	☆	晴
3月7日	水	土工(掘削・盛土) SP0.0~100.0	☆	○	☆	晴
3月8日	木	土工(掘削・盛土) SP100.0~200.0	☆	×	土工(掘削・盛土) SP100.0~150.0	曇/雨
3月9日	金	路盤工 SP0.0~200.0	☆	×	雨天中止	★ 雨
3月10日	土	休日	■	×	路盤工 SP0.0~100.0	□ 晴

☆: 作業日 ★: 天候等休工期 ■: 休工期 □: 休工期作業 ▼: 休工期内動等 ▽: 休工期作業

監督員指示・確認事項

3月7日 指示(バリケード等の安全施設の設置位置)・・・詳細は協議簿

3月8日 段階確認(SP120 路床盛土基準高、SP80 法長(L・R))
